派遣法 労働契約法 改正 ? 派 国 の 会

で

法案段階からの強 と労働契約法など「改正」 L١ 遣 批 判 法

学

ζ̈́,

闘

L١

押

返

L

7

巻き返しが進んで

L١

ಠ್ಠ

え、

所の

や反対

を無視し自公民

は

の

被

害

者

の

撤

去、

女性

日

\*

地

位協

定 謝

る等

の

決

1

審議抜きで強行成立さ

ŧ

ワー エ 月二二日六時 上の さかユニオンネッ ル 焦点 大阪にて「 ク緊急シンポ ات 半 か お + お 5

期 くと公言。 財界は今後の が当たり前」 が開催される。 とんでも 雇 に 用 b を 政 府 な て \_ 有 L١ l١

除

す

ベ

通

常

今

年

この国は毎日5億円 の税金を米軍に使っ ています!

げ

発

着

夜

間

+

·時 近

<

ま

で

予定

L

てい

た日

||米合|

同

0

回

もくり返され

る

議

採

択

沖

縄

県

の

島

<

轟

音

十月十六日

漝

離

島

奪

還

訓

練

が

地

判

例 闘

を否定する内容。

悪

用

方

法

を 見 出

さ ね

ば

ίÌ

で勝ちとってきた

た。

成立した以上、

活

米撤  $\hat{\mathcal{I}}$ 兵 暴行 去! 地 縄 Ī 米 ょ 致 1 オ 軍

決

行

さ

れ

た

1

て重

要な議

論と

実践

ど労働組合運動

記とっ

猛

烈

な 月

台

風

九

末

ഗ

た

だ

中

影

響

b か

な

L١

な

普 配 オ スプ 天 備 間 阻

スプレ 警察と米軍が暴力的 を反故に。 集落の上を飛行。 危険飛行。 ゲー がその後も連日、 ンブロッ 抗 てのゲー イは 議 の トで米兵へ 市 初日から約 座込み。 クを吊 伊江 街地 ۲ I 封 島 鎖 1 上空 <u>ー</u> ij の 基 止 で 封 に の は 後 日 下 で 束 オ 訴 排 鎖 地 の 傷。 抜 と補 暴行 飛行 民家 未 本改定 明、 湯閉鎖 償 事 件 を求める

のデ 日 止令を出し 女性暴行致 未 明 Ę 百人の に押入り少年 またもや米兵が 呑ん だ米 たこ 傷 米軍 市民らが 事 週 が外 件。 軍 暴 間 が 行 十九 集団 暴 後 出

三百人が怒り める沖縄市 スプレイ 海軍兵による集団女性 行致傷事 イ配備 十月三十 件に . О 撤 民 配 回 Ó 大 備 抗 声。 会 撤 議 普 日 天間 オス を 怒り \_ 求 千 オ 米 致 ഗ

階級的労働運動の発展をめざそう! 組織を強化拡大し、

役

所

南

までデモ。

+

会後、

米領

事

館

を

通

1)

市

ル

を埋めつくす参

加。

集

入れ墨」

アンケー

1

は

労組:

適

の集会。

エル大阪の大ホー

原発再稼働

橋下。

維新

すな!オスプレ

イ配

つづき、

十月二

八日

許 に

前 + 日

数百

の

抗

議

行

動

九日の

)大阪

米

領

事

館

の

反

(対で中

止

ات

(二七

L١

ಠ್ಠ

辺

野古でも座

報

道)

旦

 $\equiv$ 

日

少 県 通 な の 工 な 事 支援要請 連 知 今月中に本土でオ ഗ 1 |日森本: が を  $\Box$ L١ IJ 知 訓 発表。 人数 再開 パッ 練 の 事 派飛行」 坐 ゕ ij ら怒 が 防衛大臣 で さ 1 発せら É 監 ħ 予 基 ひみ。 視 ij 想 ع 地 た ع 高 の さ の 建 抗 江 米 えプ は 設 れ 切 声 れ 軍 る て 実 議 ഗ

を

政 主

策、

市

政

改革プ

ラン

再

稼

働

反

視

テン

-

寉

の

公務労働

と教

日

市

役

南

側

に

原 月

所

前

抗

議

行

動

+

机卡烷却やめ

毎

週

火曜

白夕

刻

市

役

問う集会」

には二五〇

設

橋

下 対 所

徹 監

の

寍

視

行

動

と怒り チュ み続く。 わ ñ の て 闘 沸 11 ιį 騰 る 独立しかな する沖 の は ヤ 縄 マ

橋 対負 卜 維 け 新 h C に

も処分。 大阪平 阪平 たとして八月二 人を戒告処分。 十月二五日、 大阪 アンケー 人主催 市 も処分も許さん 竹 ・橋下は 下事 十月十五 で学習 反維新· 一八旦、 -を 拒 務 わ が 局 集 百 菭 ネッ 長 南 슞 六 n 南 に 大

ガ

+

焼却

埋

立

7

Ш

放

射能

拡散やめ

う ろ !

ij 問 込 被 名が 員 法 員会に処分への異議申立。 |五日までに地方公 が 下 処 適 さん 分 申 用 参 の被 者 立。 加 は 地 大阪 処分 大阪 方 十月二 者四 公務 交通 市 務

処分撤[ 労 **ത** 戒 提 会 処 訴 働 適 分を許 者) 用 へ 準 , 外 はすでに 十月三〇 さな 熱い支援を 立ち上がる。 法 L١ 裁 南 日 大阪 判 懲 を

兀 用 員 局 人 事 日 全 の 法 員 委 の

14張りのテントが並ぶ市役所前。 通行の邪魔にはなってない。

上右 ) 10月28日オスプレイ・基地・原発に反対するデモ隊 と監視テントが合流。横断幕を持たれているのは元宜野 湾市長井波さん、元京大原子炉実験所の小林圭二さんら。 上左 ) 市と天満署が作ったバリケード。通行妨害している。

組織を強化拡大し、 階級的労働運動の発展をめざそう!

関原十 | 電本店大包|| | 電本店一万-| 原発いらん! | - 一月十一日 型用・西梅田公園三時で 万人大包囲 ・ 被曝させるな

メー 進 置 1 策 闘 + 間 包 を 動 体 超 光 ſΪ 井 増 視 行 月 の の 1 で 橋 たか さ ゚゙デモ。 四日 とご 連 動 ル ル テント 下 のバリ Ħ ネ 日 在 は ま サ な + ഗ 在特会や もデモで訴 記 か シスの は + 妨 兀 続 11 市 者 為 自 ケー 張 は 害 月 L 11 会 の 主 て と百 的 見 テン 弾圧 右翼 発 為 ド 市 日 設 な 時 **ത** 

離

性

込

試 よる最後の「住民説明会」 験 焼却 強行の た め

+

月試験

焼

却

大阪

市

構 を

な

一雨の中、

「ストッ

ら此

花

区民

朩

1

ル

で

市

開

始

月十七

百

十

月十三日十九

時

か

拡 散 L な L١ \_ 閉

真 逆。 市 関 畿 者の被曝、 を め す 輸 物 **ത** る 使っ 質 る 民 悪 係 送 円 の 政。 な も 莫 え てより多く 大な が 不安と疑問 の 61 の 焼 有 ょ だ。 大原 3!試験 橋 環境汚染を 却 害 住民 輸 下 利 物 送 質。 権 埋 則 は 命 の被 費 立 焼 正 あ も **ത** に 環 る **ത** て 툱 放 面 答 境 強 税 は 距 か **ത** 射

働

金

制 近

6

対ストップー

4 も

2012年末一時金闘争を地域統一闘争で闘おう!

過日の港ブロック会議で年末一時金闘争を地域統一闘争として闘う事、要求 金額・交渉日を決定しました。

一時金とは、賃金の一部として月々の衣食住など生活費の赤字を補てんする ものであり、賃金の後払いという性格のものです。またお中元やお歳暮といっ た盆・暮れの社会通念上の習慣があり、夏と冬には一定のまとまった金額を労 働組合が闘いとってきた歴史があるのです。

各経営に対して敢然と要求を突きつけ闘い、未組織の職場、労働者にも影響 を与えるものとして水曜行動・弁天町駅前街宣を位置付けて奮闘しよう!

統一要求金額:850,000円

要求提出日: 11月 6日(火) 回答促進行動:11月13日(火) 回答指定日: 11月15日(木)

統一交渉日: 11月19日(月)、22日(木)

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう!